

マンスリータイムズ

和歌山県立 新宮高等学校
平成30年度 2018年6月版

県高校総体 後半結果

弓道部 竹内さん 準優勝 インターハイ出場決定!



弓道部は、女子団体の部で準優勝しました。個人戦では男子の塚賀員くん(3-5 緑丘中出身)が7位、女子では竹内裕賀さん(2-4 緑丘中出身)が2位、嶋田紗帆さん(3-4 緑丘中出身)が3位、佐野遙圭さん(3-1 古座中出身)が4位、土屋智美さん(3-2 緑丘中出身)が8位、出水咲希さん(3-1 光洋中出身)が10位にそれぞれ入賞しました。以上の女子団体と個人の男・女子6名が、近畿大会への出場権を獲得しました。個人の竹内さんは、8月に静岡県で行われるインターハイへの出場権も同時に獲得しました。

ハンドボール部は、本戦1回戦惜敗するも、順位決定戦で勝ち上がり3位となり、近畿大会への出場権を得ました。



ソフトテニス部は、男女ともに団体戦でベスト8という結果を収め、近畿大会への出場権を得ました。

陸上競技部は、久司侑佳さん(2-5 那智中出身)が100mハードルで2位、100mでは5位にそれぞれ入賞しました。また、女子4×100mリレーで2位、女子4×400mリレーで4位に入り、以上の種目で近畿大会へ出場しました。

教育実習生スピーチ 6月1日



1限目に全学年の生徒が体育館に集まり、10名の実習生のスピーチを聴きました。実習生はそれぞれ、大学と高校での学習内容や人間関係の違いや、高校時代にやっておくべきことなどを自身の経験を元に話してくれました。

「人間、一生勉強です！」
「高校時代の友達は、一生の宝です！」



外務省高校生講座 6月8日



5限目の総合的な学習の時間に、外務省「高校講座」の講演会を実施しました。『国際社会に生きる自分の役割』をテーマとして、外務省国際協力局専門機関室の浦木智康氏にお話しいただきました。外交や国際情勢について具体的に知ることができました。今後の学習や進路選択のきっかけになったことでしょう。

また、放課後には20名の生徒が講師との座談会に参加し、活発な質疑応答を行いました。

各大学別校内説明会

東京医療保健大学 和歌山看護学部 6月14日

東京医療保健大学から2名の教授に来校していただき、説明会を実施しました。看護師希望の20名の生徒と10名の教員が、看護師養成について専門学校と大学の違いや、病院実習や奨学金のことなどについての説明を聴きました。



和医大 医学部医学科 6月18日

和医大から地域医療支援センター長に来校していただき、主に医学部入試の地域医療枠及び県民医療枠についての説明を受けました。参加したのは、医学部希望の生徒4名と教員10名でした。生徒からは、「へき地医療拠点病院と地域中核病院との違いは？」などの質問が出ていました。

吹奏楽部 ランチタイムコンサート

6月14日

昼休み、吹奏楽部が、中庭人工芝でランチタイムコンサートを行いました。生徒たちはお弁当を食べながら、あるいは曲に合わせて手拍子をしたり、思い思いに昼休みのひとときを楽しみました。



レスリング部 近畿大会で入賞

6月21日から24日にかけて、京都府宮津市で行われた近畿高等学校レスリング選手権大会において、4人で出場した学校対抗戦ではベスト8に入りました。個人対抗戦では、フリースタイル60kg級で速水勝太郎くん(2-4 城南中出身)が3位、グレコローマンスタイル65kg級で小林風斗くん(2-2 城南中出身)が3位に各々入賞しました。速水くんは、8月に三重県で行われるインターハイにも出場します。上位入賞を目指して頑張ってください!



保護者対象 進学講演会

6月29日

午後7時より保護者対象に進学講演会を催しました。本年度は100名以上の申込があり、会議室に別室からイスを運び込んでの実施となりました。講師として、大手予備校で長年チューター(勉強方法や受験についてのアドバイザー)を務めている安永淑生氏に来ていただき、大学入試の現状・2020年度大学入試(現高校1年生対象)の変更点などについて、わかりやすく解説していただきました。受験生の保護者として心がけることについての話もありました。様々な面で参考になったのではないのでしょうか。



配布された資料には、「保護者としての心構え」として次のように書かれていました。“誰かと比較しない。”“進学の条件を共有しましょう。お金のこと・将来のこと・齟齬があるとお互いが不幸です。”“入試情報は、自分で調べさせる。あくまでも保護者はサポーター役で。願書も子どもに書かせる。”“変化があったら声をかける。それまではガマン・・・。”“受験よりつらいことは、将来たくさんあります。合格がゴールではなく、成長の機会と捉えてください。”また、「ご家庭でできることは・・・」としては、①家族のベクトルをあわせる。⇒志望校の共有(主役は子ども)、費用面の共有 ②食事の時間を固定すること(規則正しい生活をサポート)⇒最も基本的な成績UP術は「早寝・早起き・朝ごはん」⇒土曜日・日曜日の朝食時間の固定 ③お風呂・差し入れの工夫⇒子どもの予定把握 ④入試をよく知ったうえで、「つかず、はなれず、さりげなく」⇒「任せる」という言葉を使うときは慎重に。無関心は×、干渉しすぎも×。叱り方のポイント。(1)「怒る」と「叱る」は違う (2)現在のことに限定する (3)比較は× など



全国大会出場の横断幕を校門横のフェンスに設置しました。



7月の主な行事予定

- ～4日 考査Ⅱ
- 9・10日 (月火) クラスマッチ
- 17日 (火) 選挙出前講座(1年) 県警本部長講演会
- 18日 (水) 選挙出前講座(2年)
- 18日～ 三者面談
- 20日 (金) 夏休み前アゼンブリー
- 24～26日 1年夏季学習セミナー

